

公明*こうち

市議会ニュース

発行所 / 高知市議会公明党
 住所 / 〒780-0870
 高知市本町5丁目1番45号
 TEL:088-823-9403
 FAX:088-871-2485
 2012年(平成24年)5月1日 第19号
 高知市議会  NEW KOMIITO 公明党

第432回

高知市議会
議定例会

平成24年度

当初予算議会

代表質問・個人質問で3氏登壇



山根 堂宏 議員

山根堂宏議員は、公明党が「大衆とともに」との立党精神を掲げて半世紀となることを踏まえて、生活者重視の立場から市民の生命尊厳と幸福を第義に、政策実現に取り組んでいるとの姿勢に立ち、代表質問に登壇しました。

◆駅周辺市街地整備や新図書館建設などに新庁舎整備を加えて、市が今後想定する9事業に及ぶ大規模事業や、増大予想される地震・津波対策事業への財源と財政運営について、市長に説明を求め、

（市長）平成31年度までに想定する事業費の合計は、約59億円である。また、津波被害想定では、浸水地域の拡大と津波高の増大が予想され、避難路の整備拡大や津波避難タワーなど新たな財政支出が今後必要になる。ことから、今後の事業費並びに収支の発行については、事業が一時期に集中しないように平準化に努める。また、全体の事業計画の概要把握に努め、平成25年度の地方財政計画を踏まえて、26年度以降の新たな収支見込を策定し、財源の確保に万全を尽くし、安定的な財政運営を図っていく。

◆地域防災対策など合わせた地域説明会の計画や実施について、市長に問う、

（市長）今秋までには、自身が東日本大震災の被災地の視察を行い、これらの結果を踏まえて、秋以降に市内沿岸部の地域を中心に、地元の意見を伺う場を構えたい。

◆その他、市職員の定員適正化と機構改革、防災関連、上下水道の両事業統合について、動物愛護施設策の充実などについて、質問しました。



西森 美和 議員

西森美和議員は、「防災対策二子官頭がん予防ワクチン」助成の延長、「高齢者肺炎球菌ワクチンの助成」、「放課後児童健全育成事業」環境保全事業等について、個人質問を行いました。

◆避難所として「学校施設の機能強化

「救済確保期」→生活確保期「二子官頭小学校機能再開」という四つの期間への課題の洗い出しを提案し、住民目線の施設の総検や、防災倉庫のない小中学校の早急な整備等、前向きな答弁があった。一、実施者が明記されていないマニュアルは役に立たなかつた。二、東日本大震災の教訓をいやすための各部の担当割り付けや教職員との役割分担等については今後協議するとの答弁あり。

◆高知市防災計画

高知市防災会委員は、女性の視点とさらには障がい者の声を反映する会議の選任を訴え、今後設置される女性職員のロジネットチームがより実践的な政策提案の場となるよう、環境の整備を求めたところ、市長より前向きな答弁がありました。また会議に提案する課題を、専門的かつ集中的に議論するための委員会の設置を提案しました。

◆高知市はなる条例

「はたるのさ」となる「カワチ」の乱獲に対する本市の対応を求め、条例改正について「市民の皆様から意見を聞き、検討すべし課題として取り組む」との答弁を得ました。



寺内 憲實 議員

寺内憲實議員は、次のとおり問答方式により個人質問を行いました。（概略次のとおり）

◆ジネネリク医薬品の使用促進と促進

これまでの議会質問で、先進地である広島県市町村の取組事例等を紹介しながら、市長に対し医療費の適正化と被保険者が高知市の負担軽減につながるジネネリク医薬品の使用促進を要望してきたことから、進捗状況を確認したところ、平成22年9月から実施している慢性疾患の方など削減効果が期待される方に対し、1月1日、約3名に通知している。ジネネリク通知により、年間1億3千万円の医療費削減効果を上げており、今後さらなる使用促進を進めていく旨の答弁がありました。

◆桂浜観光振興について

高知市の観光客誘致にとり、龍馬像の建つ桂浜は重要な位置づけにある中、桂浜の「イメーティング」に注いでいる閉鎖中の売店3店舗と「うすすな博物館」の対応を市長に質したところ、市長から売店組合を含めた桂浜関係者と専門のアドバイザーを入れた協議組織をつくり改善に取り組んでいく旨の答弁を得ました。

◆御霊瀬小学校閉校後の使用について

閉校後の御霊瀬小学校を拠点とした地域活性化策としてほしいという要望を受け、空き教室を使っても若者が主体となつて取組まうか」としている御霊瀬長浜浦戸地区活性化「町おこし」御霊瀬プロジェクトについて、提案し、「大変魅力的なプロジェクトであり、若者の意向に沿う形で校舎利用を検討する」旨の答弁がありました。

◆御霊瀬小学校閉校後の使用について

閉校後の御霊瀬小学校を拠点とした地域活性化策としてほしいという要望を受け、空き教室を使っても若者が主体となつて取組まうか」としている御霊瀬長浜浦戸地区活性化「町おこし」御霊瀬プロジェクトについて、提案し、「大変魅力的なプロジェクトであり、若者の意向に沿う形で校舎利用を検討する」旨の答弁がありました。



筆山公園から五台山を望む

桜の春から初夏の花へ

筆山公園は、今こそ、多くの市民の憩いの場となり、高知市を一望できる場所に復活しました。故郷の憩いの場となり、「筆山の桜が天狗峠南にかり、全滅の危機にある」と相談が寄せられた頃は、花見の季節でありながら、桜はほとんど咲くことなく壊滅状態でした。そこで、公明党市議団は独自で実態調査を行い、2004年市議会です、専門的な調査に基づき、早急な対応を訴え、岡崎誠也市長は、対応策を協議することを約束しました。

その後策定された、「筆山公園整備計画」に基づき、08年春には、新たに7メートルの展望台が設置され、ボランティアの方々と、桜の木444本を伐採し、新たに300本を、植樹。遊歩道を整備するなど、「花見」が楽しめる公園になりました。

この「筆山公園整備事業」は、「現場第一主義」に基づき、「市民目線」で人に寄り添う公明党議員ならではの取り組みで、「一人の議員の熱い思いが行政を動かす礎となり、市民と行政が協働で再生した、公園整備の手法となるものです。」

めぐり来る

桜花の季節に

先人徳ぶ

子宮頸がん予防ワクチン接種助成期間が延長しました！

平成24年3月までを助成期限としていた子宮頸がんの予防ワクチンの無料接種が、公明党の推進で、平成25年3月まで、全額助成の期間を延長することが決定しました。

子宮頸がんは、ほぼ100%予防できるがんです。

本市では平成23年1月より無料接種が実現し、対象も高知県の単独事業によって国よりも拡充し（中学1年生～高校3年生）、接種率はがん予防の関心の高さから73%と高い水準を推移しています。



20歳になったら検診を!

同時入所の第2子の保育料が安くなります

平成24年度から、保育所・幼稚園・認定こども園・知的障がい児通園施設などに、同時に通園する第2子の保育料が、従来の2分の1から3分の1に軽減されます。

※3人以上在園の場合は、これまで通り3人目から無料です。



太陽

「増税のみ先行する」これは現政権の体質なのでしようか。

社会保障の全体像を示さないままの「消費増税議論」が混乱を招いていますか？

子供一人あたり二万六千円が支給されるはずであった「子ども手当」ひとつとっても結果的に年少扶養控除の廃止という増税だけが先行しました。

誰一人、満額を受け取ることなく姿を消すこの手当が、おおよそ自玉政策とは思えないほど脆弱な制度設計であった事を見逃すことはできません。

財源の裏付けもないという肝心な整備も怠った結果「子ども手当」は初年度から「児童手当法」を間借りしてかろうじて実現できたにすぎず最も支援を必要とする多子世帯や三歳未満の子どもをかかえる家庭が、もろに増税の影響を受ける事態となりました。

当然、一体で推進しなければならぬはずなのに、のびのびと簡単に、片輪だけで暴走してしまう危うさを痛感します。

社会保障と税の一体改革では、同じ轍を踏まぬよう国民的な議論にしておく必要があると思えます。(18日)